

2025年8月27日

報道関係各位 様

札幌観光大使 吉野奈美佳

"北海道から世界へ" 札幌出身の片目失明モデル 最高峰Paris Fashion Week に出演決定



2025年7月31日、大阪の東心斎橋T・Bホールにて海外ランウェイへの挑戦をかけたオーディション「第1回 Japonism collection」が開催されました。吉野奈美佳さんは、最終審査に合格し、世界最高峰であるParis Fashion Week 2026 s/sに出演することが決まりました。

札幌出身で札幌観光大使でもあるモデルの吉野奈美佳さんは「第一次硝子体過形成遺残」という病気が原因で、小学校2年生のときに網膜剥離をおこし左目を失明。片目での生活は段差や距離感が分かりづらく、まっすぐ歩くことすら困難。日常的に目の痛みや頭痛、吐き気に悩まされています。さらに目の萎縮や斜視といった見た目への影響もあり、いじめを受けたり悪口を言われる毎日を送っていました。それでも「同じ境遇の方や、自分に自信を持ってない方の背中を押したい」という強い想いから、小学生の時からモデルの道を志し、日々努力を積み重ねてきました。

その努力が実を結び、「第1回 Japonism Collection」オーディションでは、全国から集まった候補者の中から合格者10名の一人に選出。当日は、223名のエントリー者から、書類・面談審査の第一次選考、ウォーキングレッスン審査の第二次選考を勝ち抜いた、57名が最終審査に挑みました。ウォーキングだけを審査項目とする公平な舞台で、一般の参加者と同じ条件で挑み、吉野さんは見事にParis Fashion Weekへの切符を勝ち取りました。吉野さんは、「一般の参加者と同じ条件で挑戦し、選んでいただけたことが意味のあることであり、大変嬉しく思います。私自身が障がい当事者として先駆することで、同じような悩みを抱えている方の背中を押し、社会全体の障害者の選択肢を広げていきたいですし、片目失明者は障がい者認定が受けられず、困っている人が沢山いるという事実を一人でも多くの方に知って頂きたいです」とコメントしています。

吉野さんは、2025年9月30日にパリのPavilion Etoileという場所で開催されるGX主催のParis Fashion Weekにて、デザイナーMAYAの手がける着物ドレスのコレクションに出演する予定です。Paris Fashion Weekは、世界のトップデザイナーやモデルが集まるファッションの祭典であり、世界中のファッションメディアが注目する舞台です。吉野さんは、今後はParis Fashion Weekを皮切りに、さらなるグローバルな活躍を目指し、同じような境遇の方のロールモデルになりたいと今後の夢を語っています。

吉野 奈美佳 プロフィール

- 出身地：北海道・札幌市
- 生年月日：1996年4月28日
- モデル・ウォーキング講師
- 「第一次硝子体過形成遺残」という病気が原因で小学校2年生のときに網膜剥離をおこし左目を失明。片目での生活による困難を抱えながらも、モデルとして挑戦を続ける。
Miss RUNWAY MODEL UNIVERSE 2020 日本代表で、世界大会では準グランプリに輝いた。また、世界三大ミスコンテストであるミス・ワールド・ジャパン 2019 北海道代表の経歴ももつ。日々努力を積み重ね、2025年9月末のParis Fashion Week出演が決定。自身の活動を通じて、同じように悩む人々や挑戦を諦めかけている人に勇気を届けている。

☆吉野奈美佳公式Instagram

@namika_428

https://instagram.com/namika_428

☆Japonism collection

<https://www.jp-collection.com/>

現在第2回目のエントリーを受付中です

☆ Pavillon Etoile

所在地：12 Rue de Presbourg, 75116 Paris, France

☆右写真は、最終審査のウォーキングの様子

<本リリースのお問い合わせ>

吉野奈美佳

メール:aurora.tiara.nami73@gmail.com

電話:080-6070-7315

